

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年4月25日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



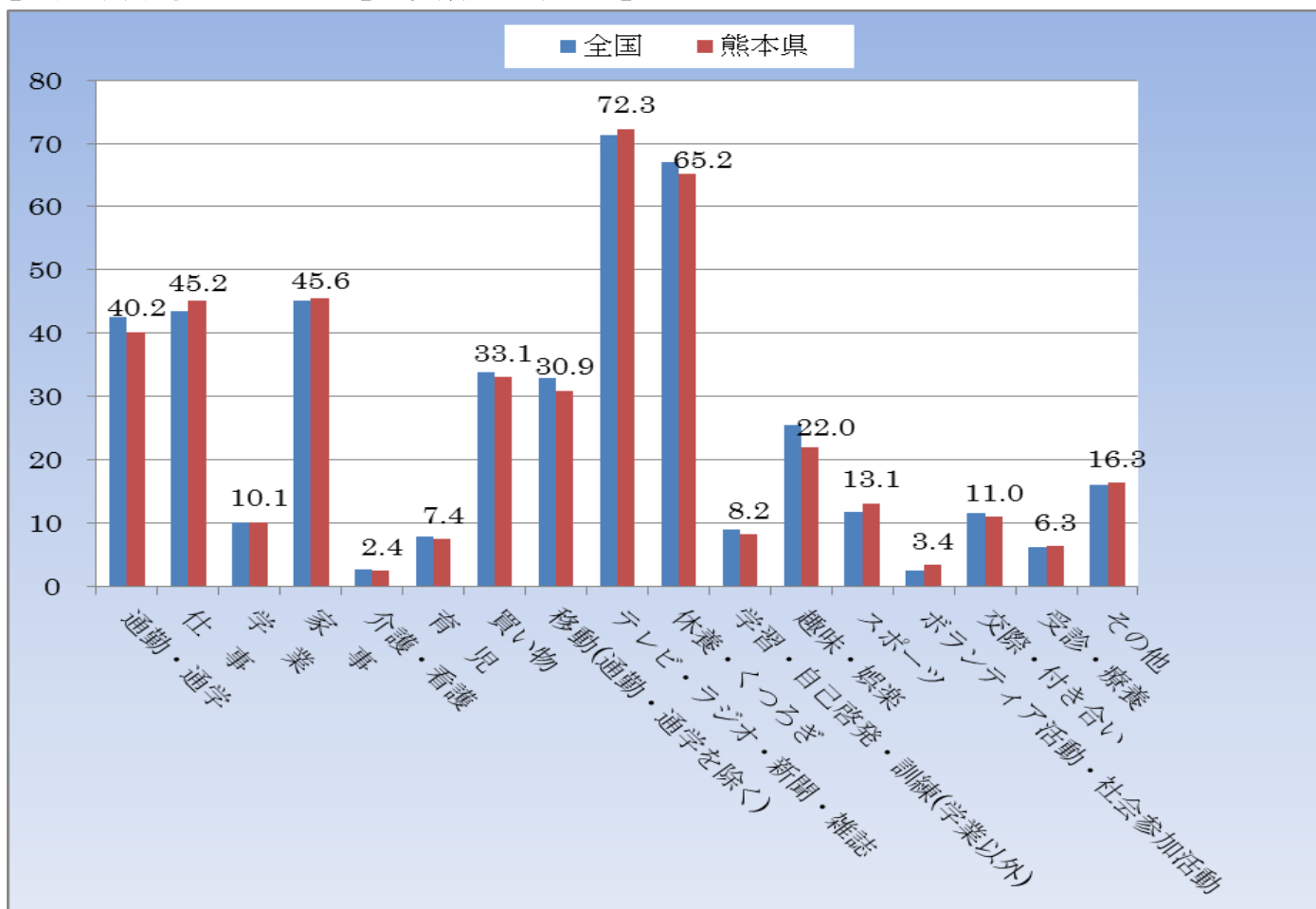
統計から見る熊本県民の行動①



4月は、学校や仕事など新たに始まる季節ですね。日ごろ皆様はどのような活動に時間を使っているのでしょうか？

今回は普段の生活時間をどのように使っているのかを調査した「平成23年 社会生活基本調査」(総務省)の結果から、熊本県民の皆様の行動を見ることにしましょう。

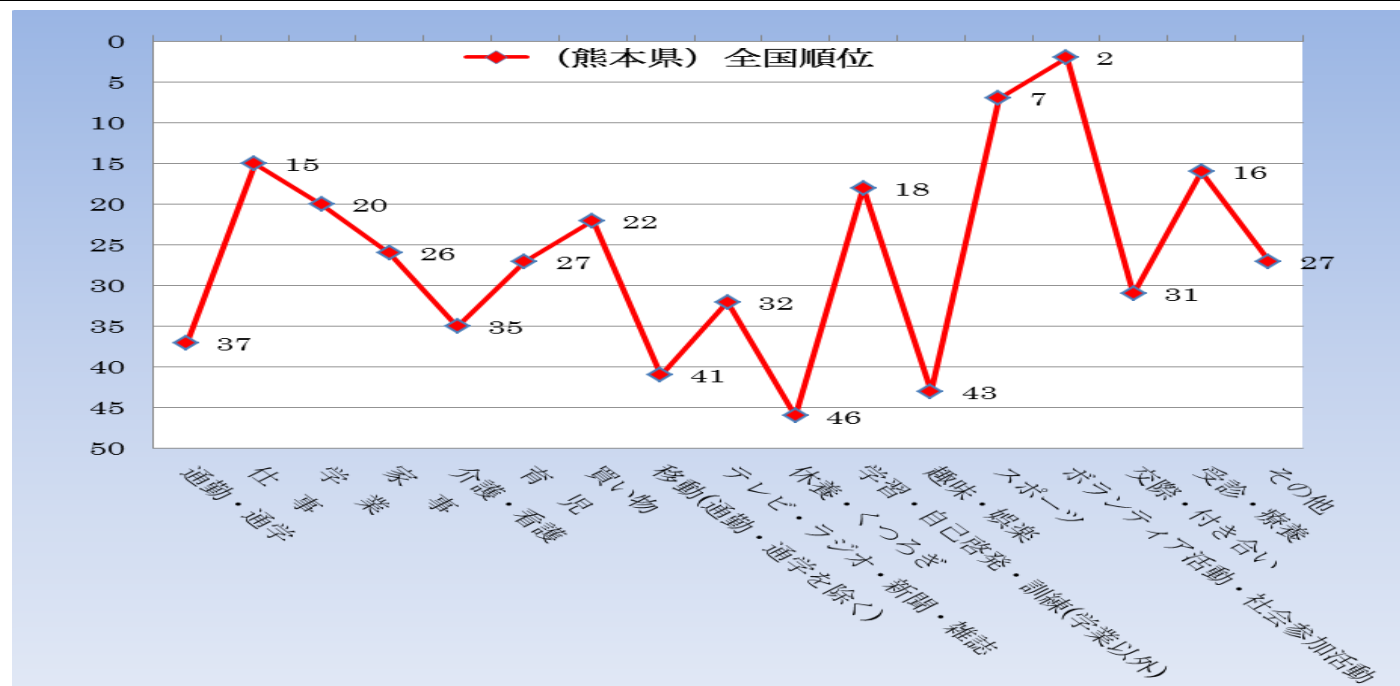
【全国・熊本県の「生活時間」の種類別行動者率】 ※「睡眠」・「身の回りの用事」・「食事」を除く。



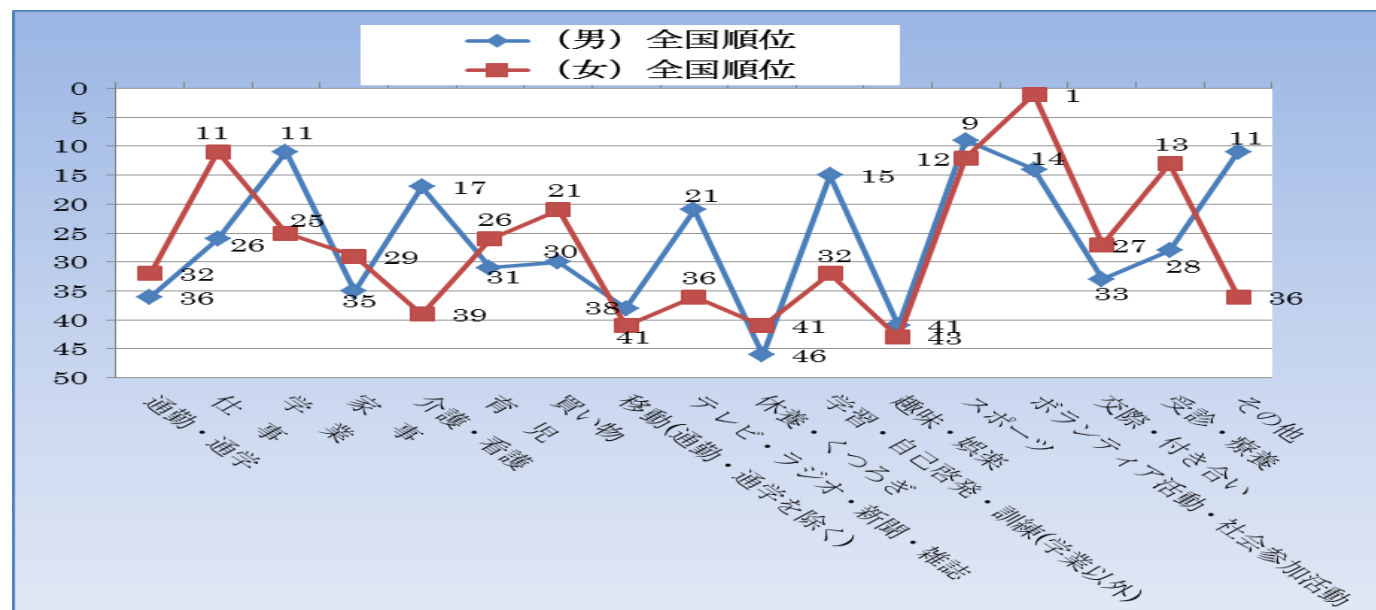
※行動者率・・・10歳以上人口に占める行動者数(過去1年間に該当する種類の活動を行った人の数)の割合(%)

上の表は、全国の10歳以上の男女351,515人(熊本県は6,992人)を対象とした行動者率の内訳を示したものです(「睡眠」・「身の回りの用事」・「食事」は、ほぼ100%のため除く。熊本県のみ数値を表示)。

「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」、「家事」の順に多いことが分かります。



次に、これを全国順位で見ると(上の表)、熊本県は、「ボランティア活動・社会参加活動」が全国第2位と最も高く、次いで「スポーツ」が第7位、「仕事」が第15位と続いています。



最後に、(熊本県の)男女別で見てみましょう。

上の表を見ると、男性は、「スポーツ」が全国第9位、「学業」・「その他」が第11位と続いています。

女性は、「ボランティア活動・社会参加活動」が全国第1位と最も高く、「仕事」が第11位、「スポーツ」が第12位となっています。

行動率の数値自体が小さいものも含まれているため一概には言えませんが、この結果から見ると熊本県民は、男性は「スポーツ」、女性は「ボランティア活動・社会参加活動」が活発であるようです。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、5月30日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年5月30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



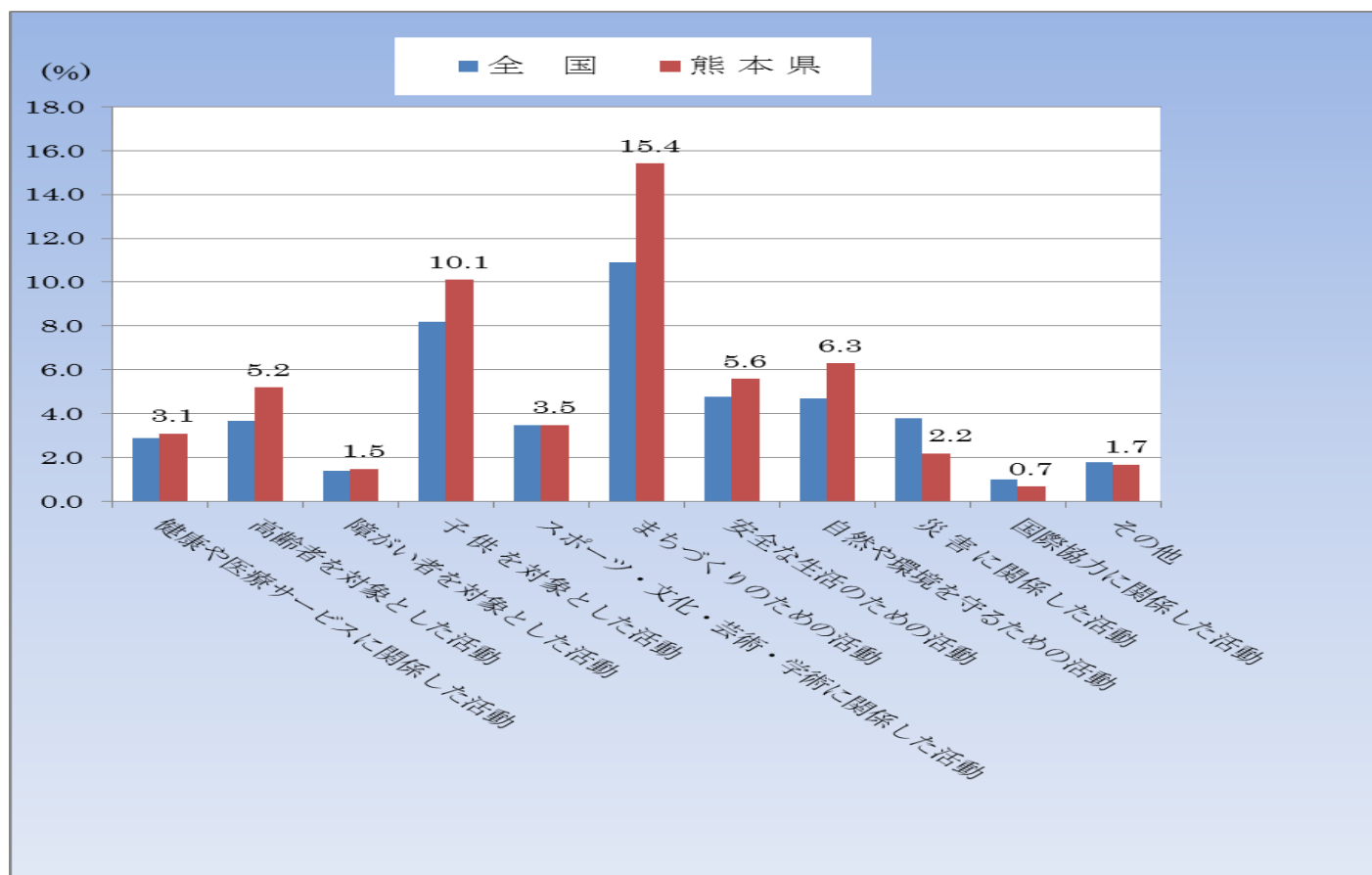
統計から見る熊本県民の行動②



前月の統計アラカルト(「統計から見る熊本県民の行動①」)では、特に女性について、「ボランティア活動・社会参加活動」の行動者率が高い傾向にあることをお伝えしました。

これに関連して、今月は「ボランティア活動の種類別行動者率」について、「平成23年 社会生活基本調査」(総務省)の結果を用いて見ることにしましょう。

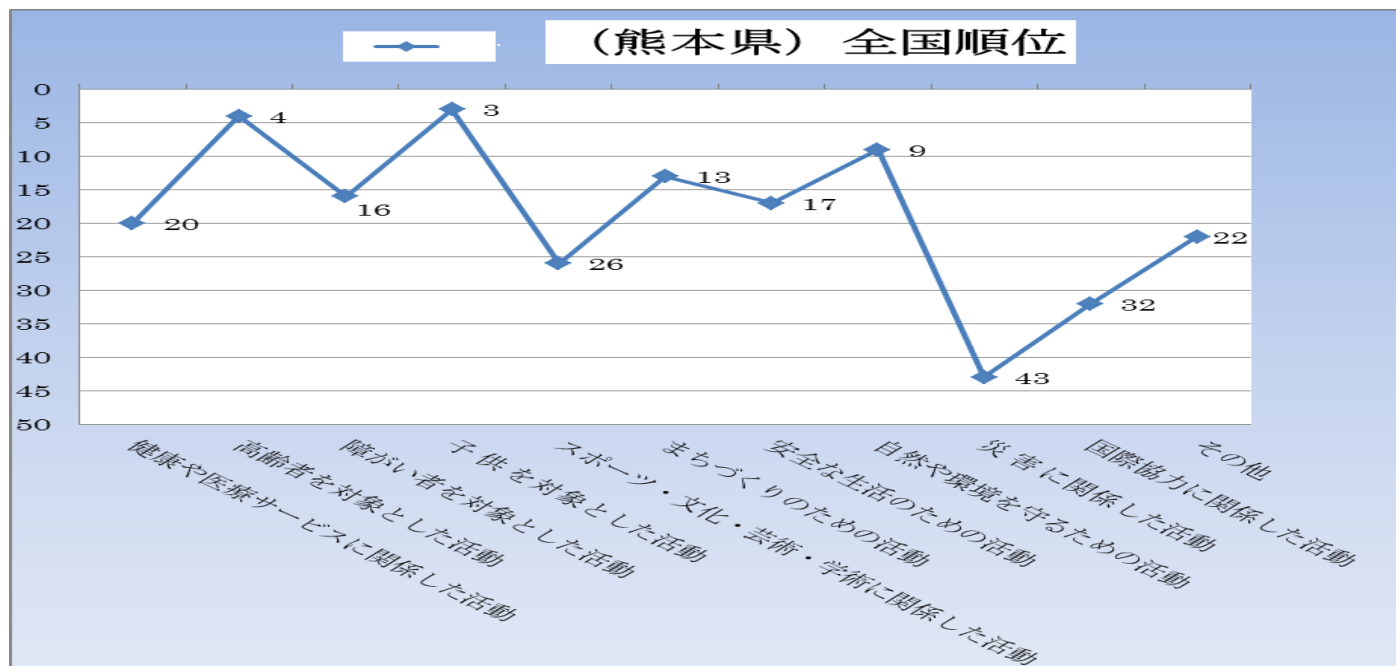
【全国・熊本県の「ボランティア活動」の種類別行動者率】



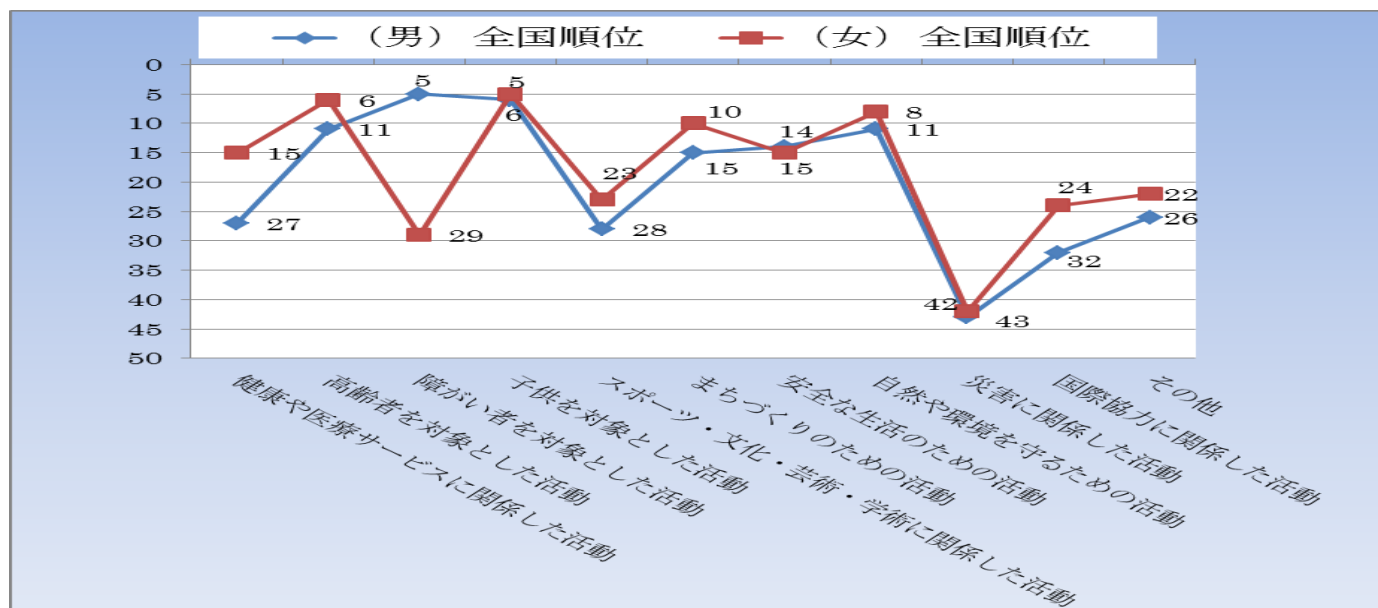
※行動者率・・・10歳以上人口に占める行動者数(過去1年間に該当する種類の活動を行った人の数)の割合(%)

上の表は、全国の10歳以上の男女 178,444 人(熊本県は 3,561 人)を対象とした行動者率の内訳を示したものです(熊本県のみ数値を表示)。

「まちづくりのための活動」、「子供を対象とした活動」、「自然や環境を守るための活動」の順に多いことが分かります。



次に、これを全国順位で見ると(上の表)、熊本県は、「子供を対象とした活動」が全国第3位と最も高く、「高齢者を対象とした活動」が第4位、「自然や環境を守るための活動」が第9位と続いています。



最後に、(熊本県の)男女別で見ましょう。

上の表を見ると、男性は、「障がい者を対象とした活動」が全国第5位、「子供を対象とした活動」が第6位と高く、女性は、「子供を対象とした活動」が全国第5位、「高齢者を対象とした活動」が第6位と高くなっています。

行動率の数値自体が小さいものも含まれているため一概には言えませんが、この結果から見ると熊本県民のボランティア活動は、男女とも「子供を対象とした活動」が活発な傾向にあるようです。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、6月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年6月27日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



失業率と労働力調査について！？



全体的な景気判断を行っていくうえで、重要な指標の一つとなるのが雇用に関する統計です。賃金や雇用に関する統計は色々ありますが、今回はその中で失業率のお話をしたいと思います。

一般に、欧米での失業率は高く、反対に日本の失業率は相対的に低めで推移してきたため、日本と海外諸国では失業率の定義が違うのではないかと考えている人もいると思いますが、実際のところはどうなのでしょう。

各国で出されている失業者の定義は、客観的に就業・失業の実態を把握するため、国際労働機関（ILO）で定められており、日本においてもこの国際基準に準拠したものとなっています。

ILOが定めている失業者の定義は、

- ①「仕事についていない」、すなわち、有給就業者でも自営業就業者でもなく
- ②「仕事があればすぐつくことができる」、すなわち、有給就業又は自営業就業が可能
- ③「仕事を探す活動をしていた」、すなわち、最近の特定期間中、有給就業又は自営業就業のために特別な手だて（※）をした、一定年齢以上のすべての者から成る。とされています。

（※）「特別な手だて」には、公共又は私設の職業紹介機関への登録、雇用主への求職申込み、事業を始めるための土地、設備等の準備活動、資金調達等が含まれます。

このILOの基準を受けて、各国で実施されている失業者失業率調査の概要は次のとおりです。

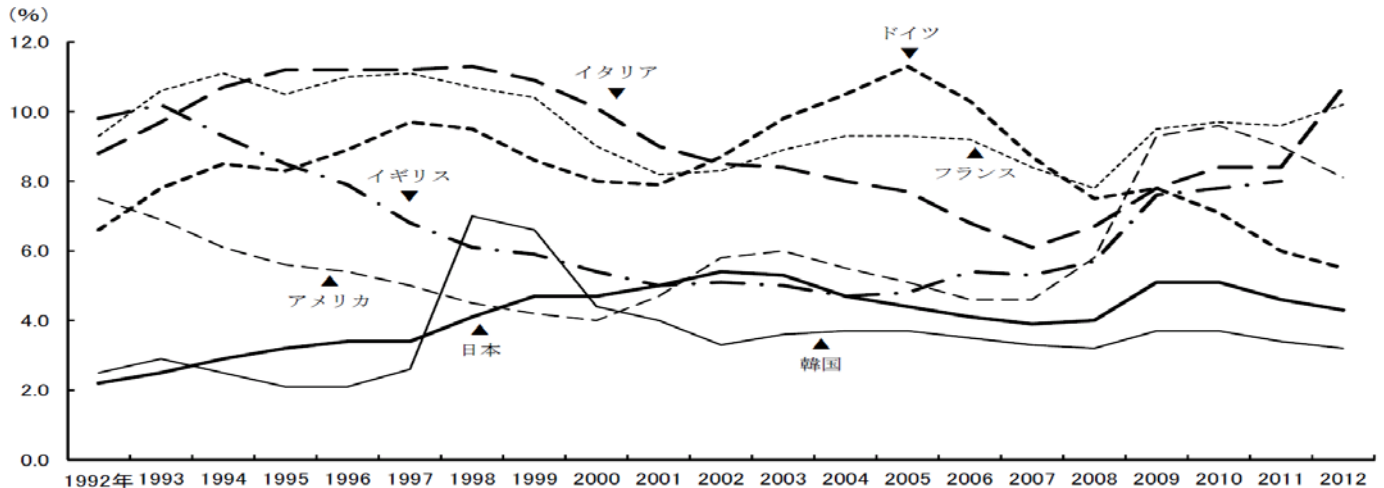
○各国の失業者、失業率の調査について

	ILO の定義・概念	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス
調査時期及び期間	1週間又は1日のような特定の短期間(調査期間)に関して測る	毎月1回	毎月1回	3ヶ月を1単位とし、13分割した調査区を毎週調査	3ヶ月を1単位とし、13分割した調査区を毎週調査	3ヶ月を1単位とし、13分割した調査区を毎週調査
		1週間(月末)	1週間(12日を含む)	各1週間	各1週間	各1週間
調査対象年齢	一定年齢以上の全ての人	15歳以上	16歳以上	16歳以上	15歳以上	15歳以上
失業者の定義	仕事を持たず(就業者でない)	就業者でなく	就業者でなく	就業者でなく	就業者でなく	就業者でなく
	現に就業が可能で(調査期間中に就業が可能)	調査期間中に就業可能で	調査期間中に就業可能で	調査期間中に就業可能で	調査期間中に就業可能で	調査期間中に就業可能で
	仕事を探していた(最近の特定期間に仕事を探す特別な手立てをした)	調査期間中(過去1週間)に求職活動を行った者	過去4週間以内に求職活動を行った者	過去4週間以内に求職活動を行った者	過去4週間以内に求職活動を行った者	過去4週間以内に求職活動を行った者
失業率の算出方法	$\frac{\text{失業者}}{\text{労働力人口}} \times 100$	同左	同左	同左	同左	同左

出典：総務省統計局「平成24年労働力調査年報」

ILOが定めた基準に準拠して行われている国であっても、その国の就業事情に合わせて細かい定義には若干の違いがあるため、OECD(経済協力開発機構)においては、各国の失業率をILO基準にできるだけ近づけるような調整を行った失業率(HUR)を30か国について算出・公表していますが、日本、アメリカ、カナダなどの国の失業率は、ILO基準に準拠していることから、政府による公表値がそのまま使われています。

○失業率(HUR)の推移



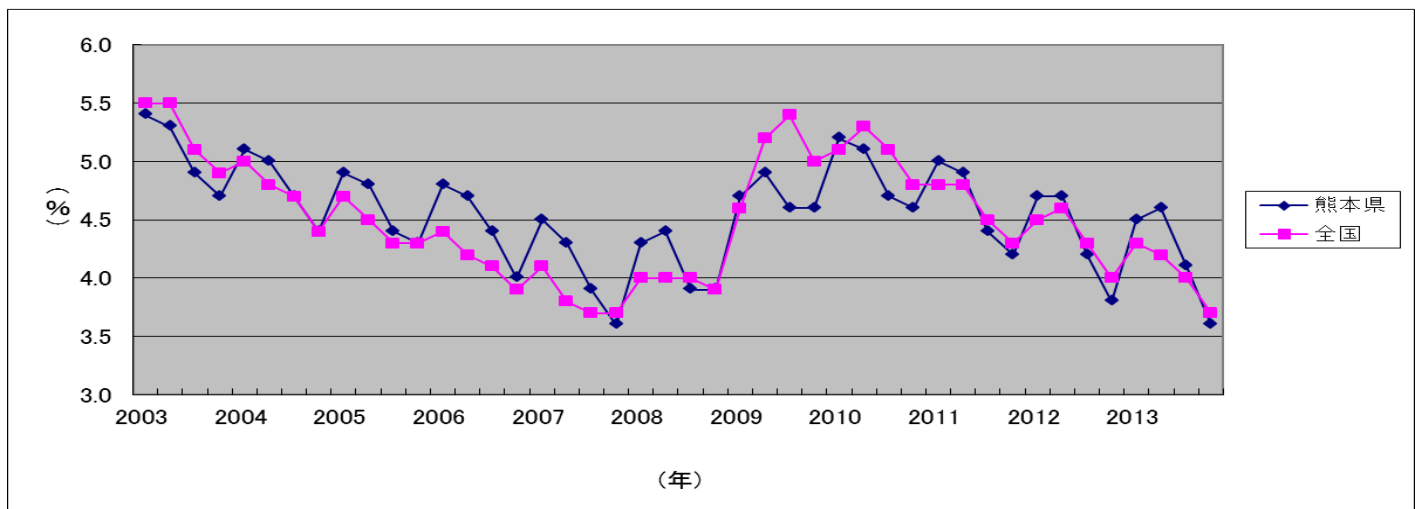
なお、我が国の労働力調査は、都道府県別に表章するような標本設計を行っておらず(北海道及び沖縄県を除く。), 標本規模も小さいことなどにより、全国結果に比べ結果精度が十分に確保できないとみられることから、毎月の結果公表は行っておりません。

都道府県別データとしては、総務省が四半期ごとに、都道府県別のモデル推計値を公表していますが、上記と同様の理由によりその取り扱いには注意を要します。

参考までに、過去10年の熊本県と全国の完全失業率の比較をしたのが次のグラフです。

○熊本県(モデル推計値)と全国の完全失業率の推移

単位: %



○労働力調査にご協力をお願いします！

労働力調査は、毎月月末現在で実施され、就業状況は調査日を末日とする1週間の状況を調査します。
 全国約2,900調査区、約4万世帯(15歳以上の世帯員は10万人)の調査を行い、県内では、毎月600世帯、約1,500人の調査を行い、約40名の調査員の皆さんが調査に何わせていただいています。
 国の就業対策等の基礎資料となる貴重な調査です、調査員へのご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、7月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年7月25日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

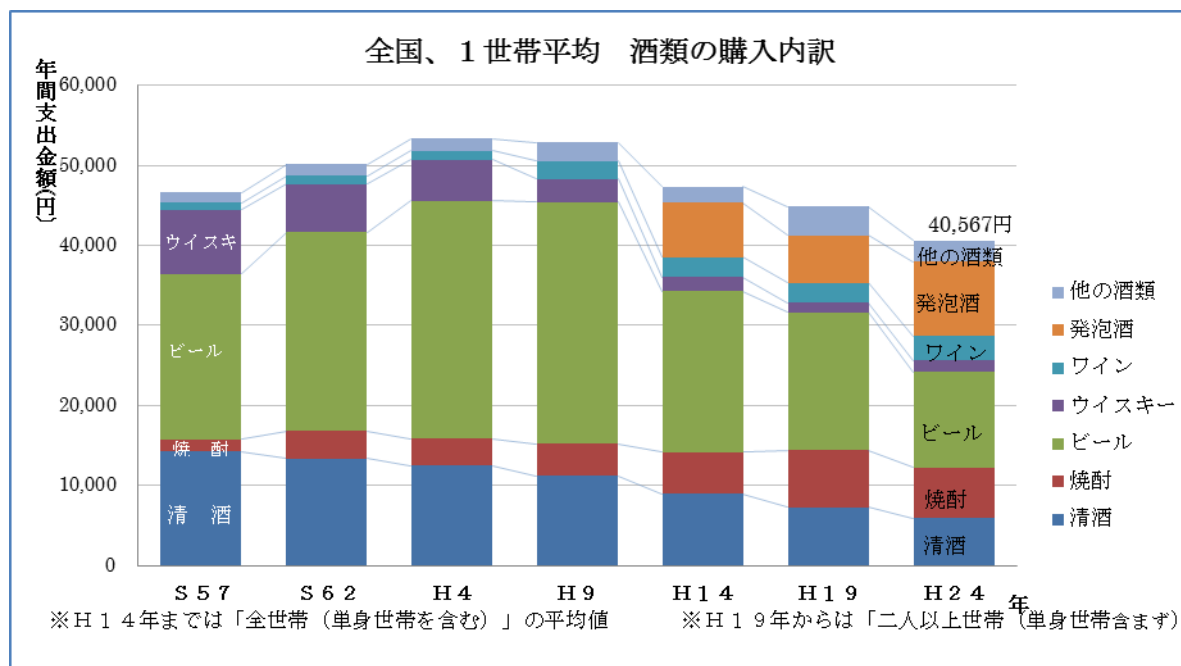
毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

今夜、何ば飲もか？～酒代のゆくえ～

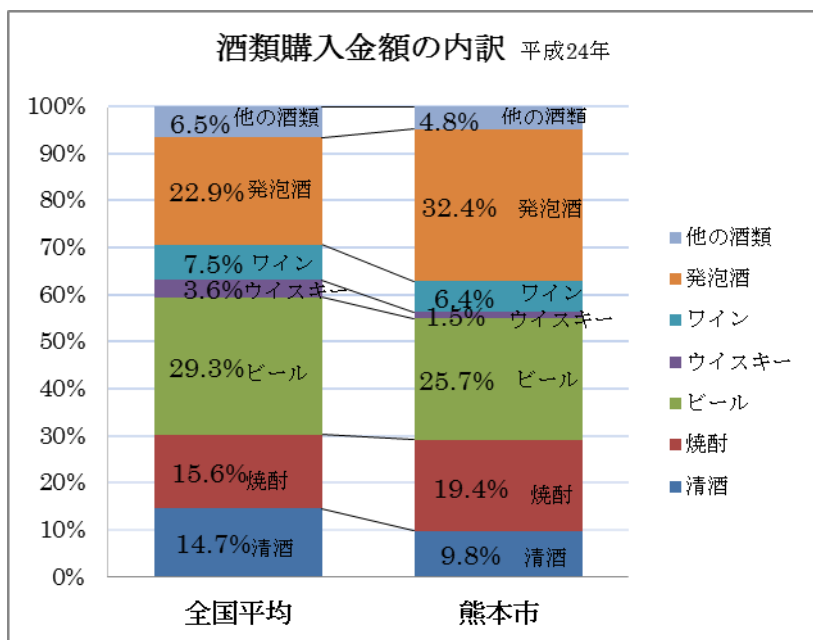
汗ばむ陽気となり冷たいお酒がおいしくなる季節ですが、みなさんはどんなお酒を飲んでいますか？
今回は家計調査における「酒代の使途」に焦点をあててみました。

◎酒代は減少傾向

酒代の総額は近年減少傾向にあります。しかし「発泡酒」の購入額は増加しています。



◎熊本市は発泡酒と焼酎の比率「大」



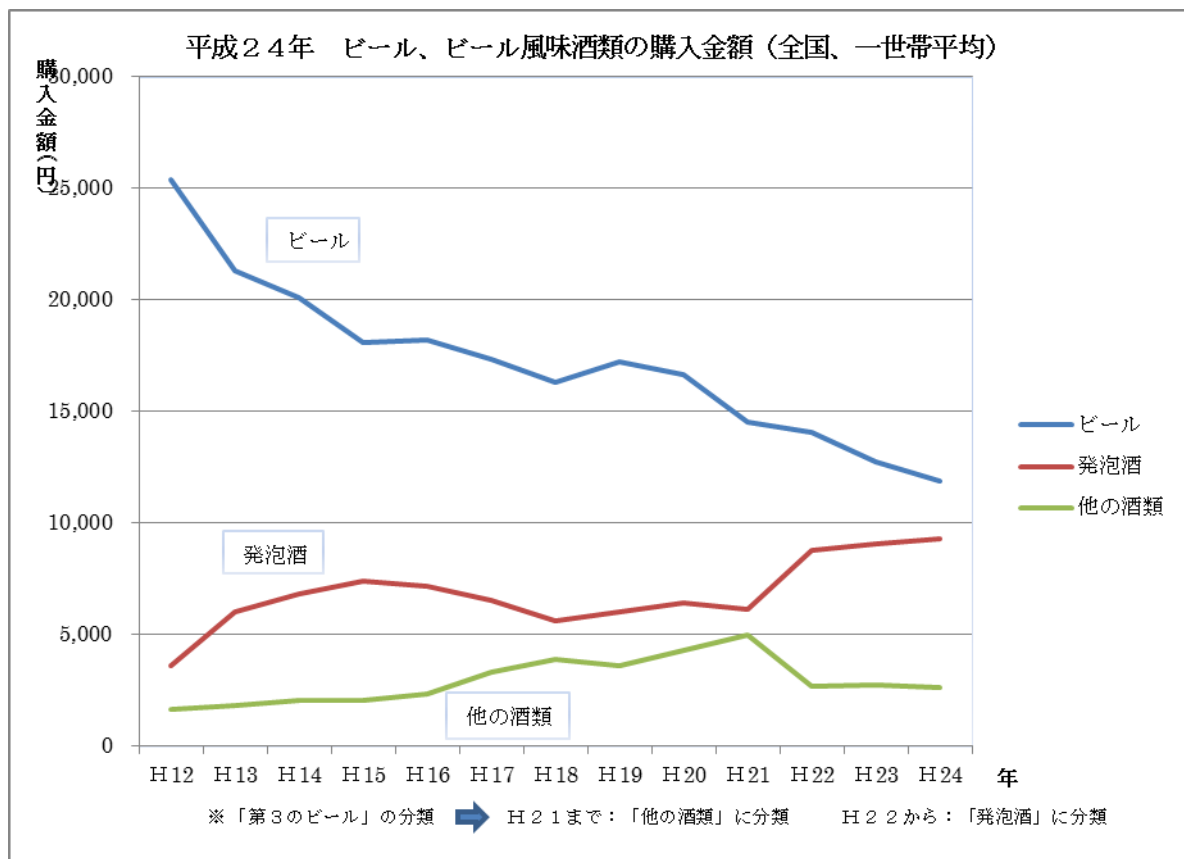
熊本市の平均では発泡酒と焼酎の割合が全国平均より大きく購入金額の約半分を占めています。



◎ビールそれとも発泡酒？

「今日は暑かった」という日はどっちにしようか悩む方も多いのではないのでしょうか。

全国平均の支出金額ではビール購入額が多いものの、近頃、発泡酒が伸びてきており、購入数量では既に発泡酒がビールを上回っています。



熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、8月29日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年8月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

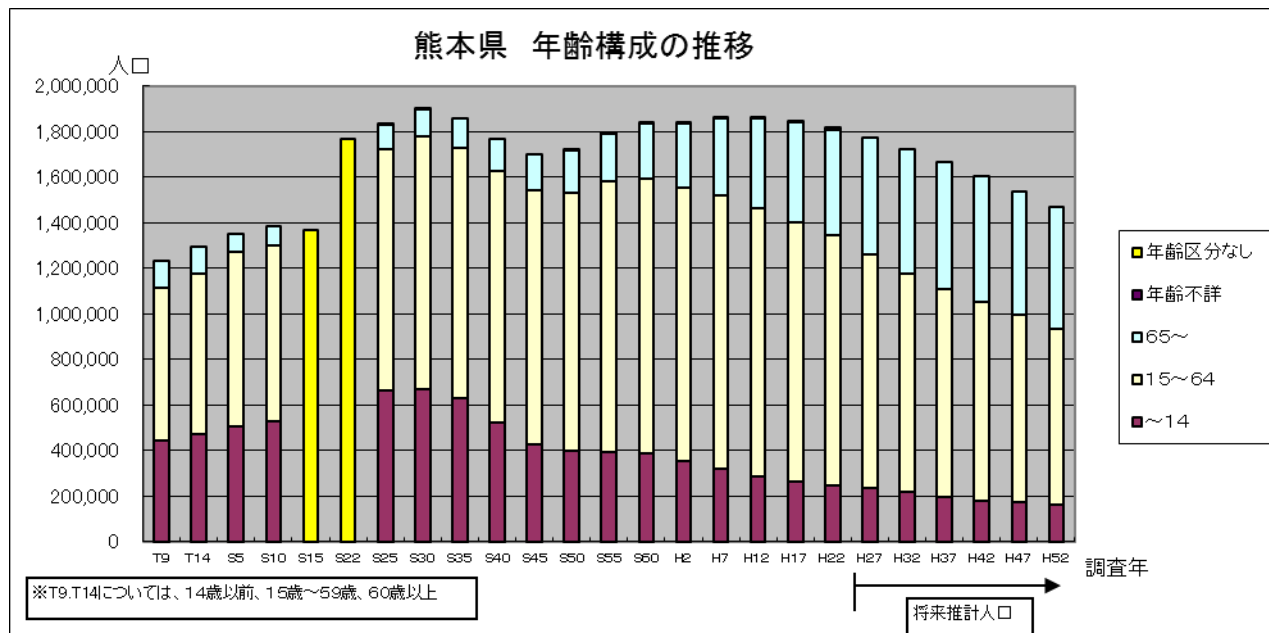
毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

人口減少と少子高齢化

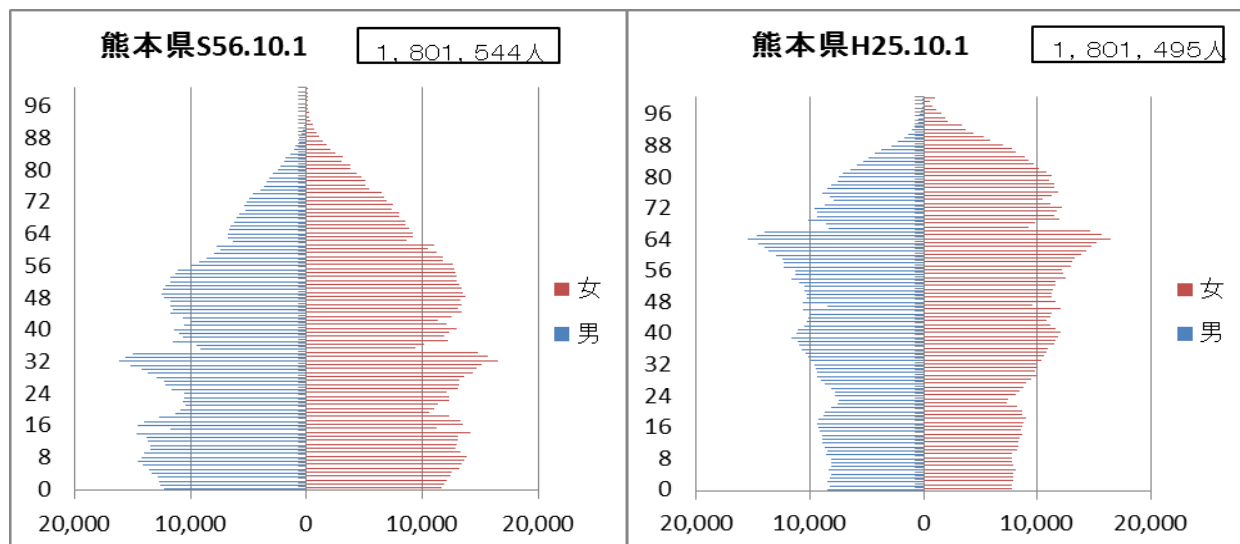
最近、人口減少により集落や自治体の存続が将来危ぶまれる状況にあると話題を呼んでいます。熊本県でも少子高齢化により人口減少が徐々に進んでおり、本年2月には県民人口が180万人を下回りました。そこで今回は、県民人口に関する統計をとりあげてみました。

◎県民人口の過去・現在・未来

県民人口については、大正9年から現在まで国勢調査を実施しており、また将来の推移については国立社会保障・人口問題研究所が平成52年まで予測しています。

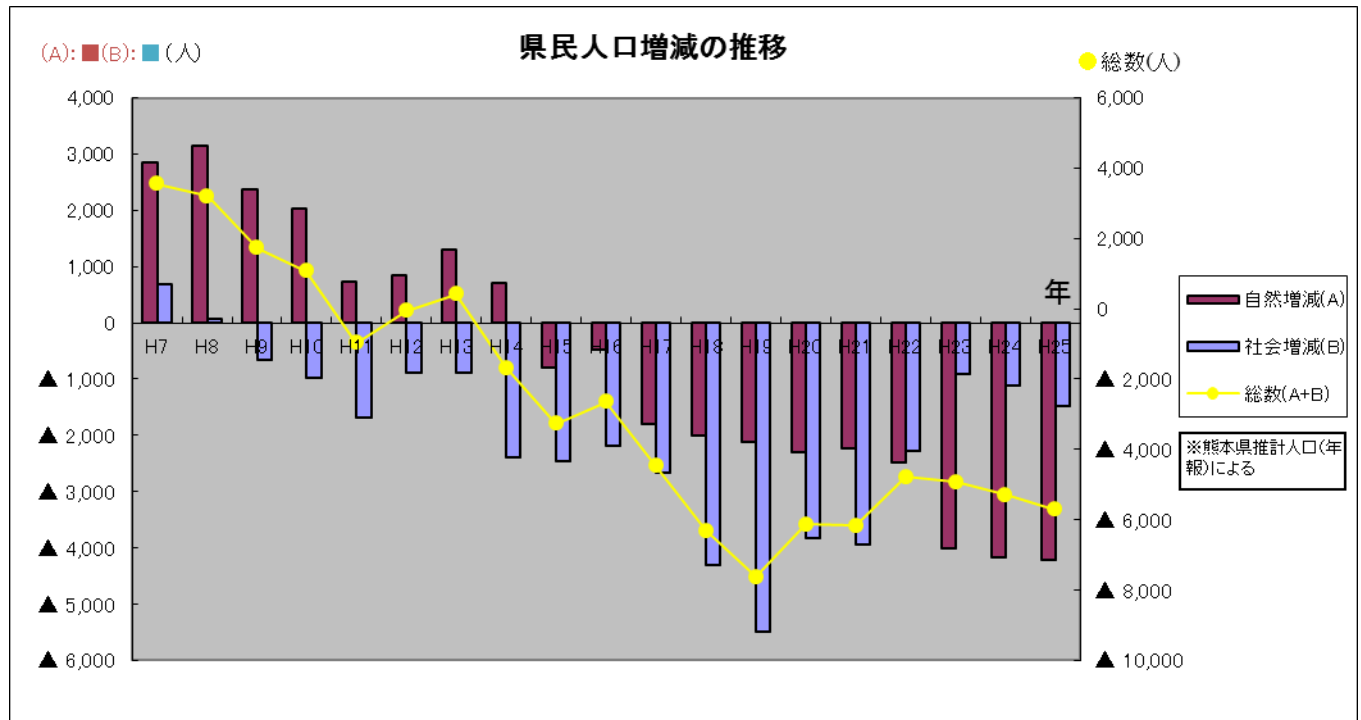


◎年齢構成の変化 平成25年10月1日の人口と昭和56年10月1日の人口はほとんど同じです。しかし、その年齢構成は大きく異なっています。



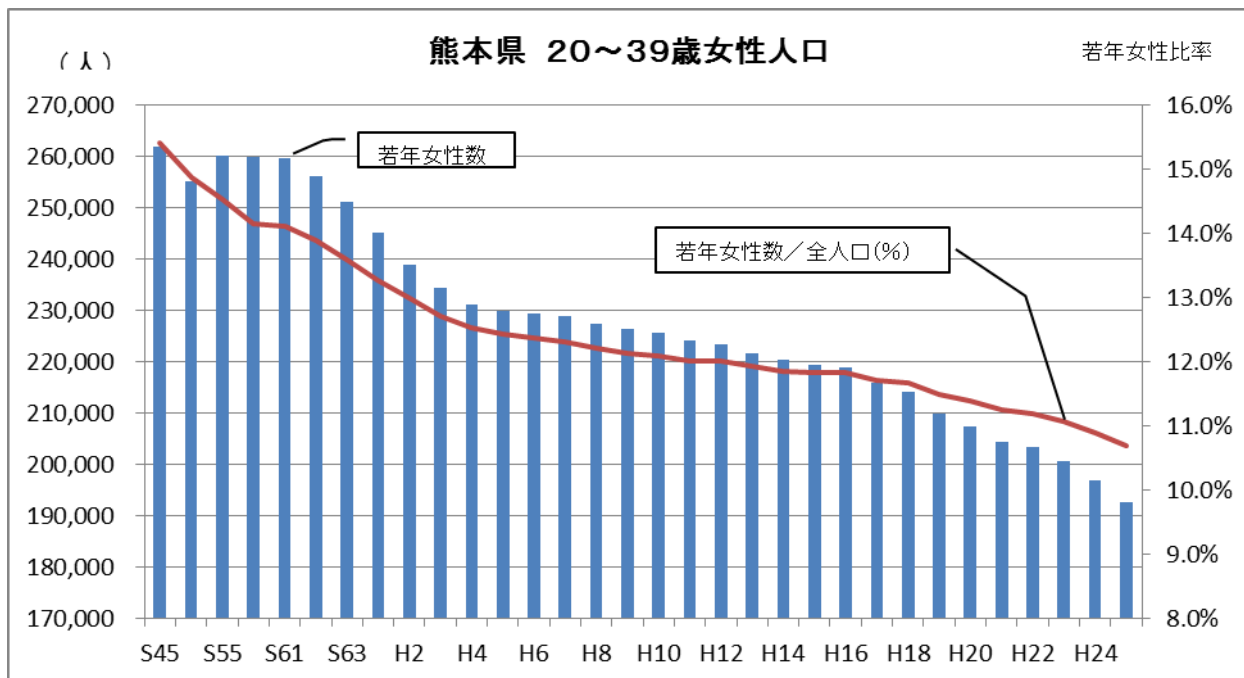
◎「社会減」から「自然減」へ

人口減少の要因は、平成14年以降「社会減（県外転出＞県内転入）」が主でしたが、平成22年以降は「自然減（死者数＞出生数）」が社会減を上回っています。



◎若年女性（20～39歳）の減少

自然減の原因のひとつとして出生数の減少が挙げられますが、その背景に若年女性の減少傾向があります。若年女性の総数が減少するとともに総人口に占める比率も低下しています。



熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、9月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年9月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



毎月勤労統計調査から見るお金のはなし①

景気と関係の深い賃金。厚生労働省は、平成26年度の最低賃金が全国平均で時給 780 円となり、前年度より16円上昇したと発表しました。引き上げ幅は4年ぶりの大きさでした。

熊本県の最低労働賃金は、13円引き上げられ677円となりました。新しい最低労働賃金は、早ければ来月1日(10月1日)から適用される予定です。

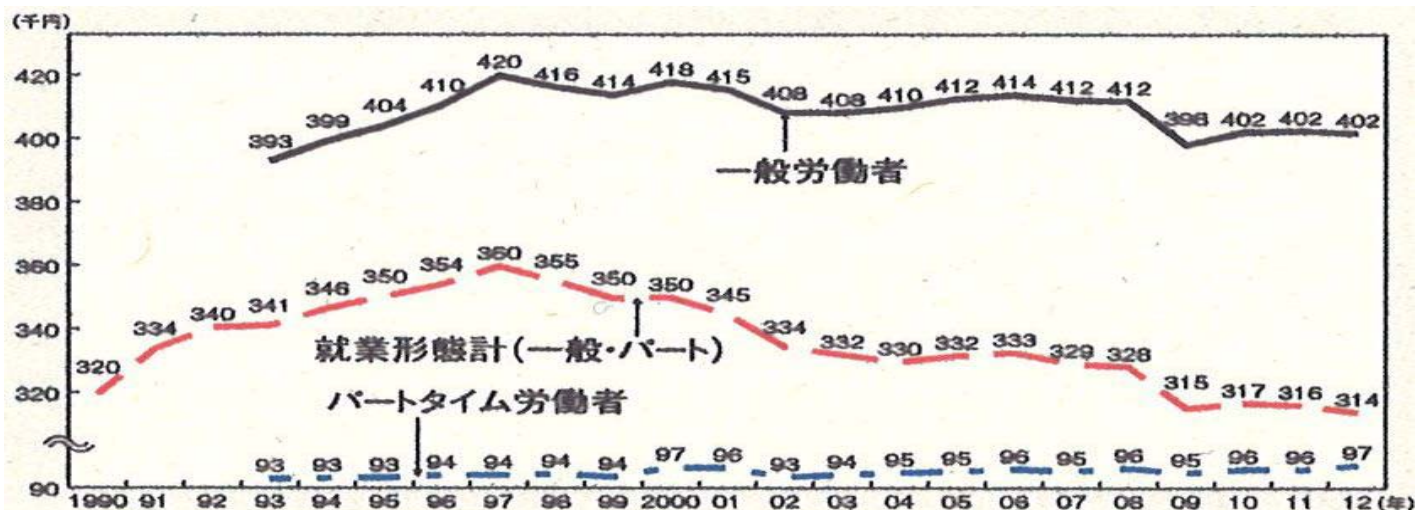
この最低労働賃金の審議機関である厚生労働省の中央最低賃金審議会の審議資料の一つとして「毎月勤労統計調査」が使われています。そこで、今月と来月は、「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)を紹介していきたいと思います。

図1は、1990年～2014年の20年余りにわたる我が国の現金給与総額(就業形態別)の推移を示したものです。一般労働者(正社員等)の現金支給総額(黒の実線)、一般労働者とパートタイム労働者を併せた就業形態計の現金総支給額(赤の点線)は、共に1997年をピークに減少傾向にあることが分かります。

特に、就業形態計(一般労働者+パートタイム労働者)については、1997年の36万円から2012年の31万4千円に12.8%減少しており、一般労働者(4.3%減少)と比べると大きく減少しています。

(図1)就業形態別現金給与総額の推移(全国)

<単位:千円>



(「毎月勤労統計調査」より厚生労働省作成)

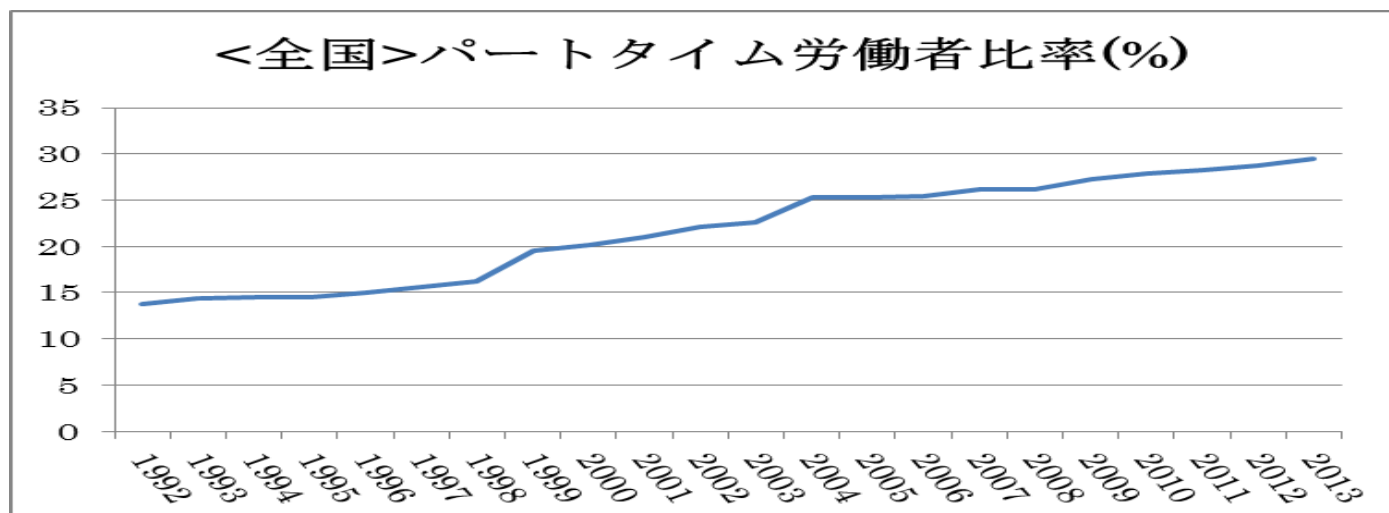
※一般労働者 : 常用労働者のうち、パートタイム労働者以外の者。

パートタイム労働者: 常用労働者のうち、以下①・②のいずれかに該当する者のことをいう。

①1日の所定労働時間が一般の労働者より短い者。

②1日の所定労働時間が一般の労働者と同じで1週の所定労働日数が一般の労働時間より短い者。

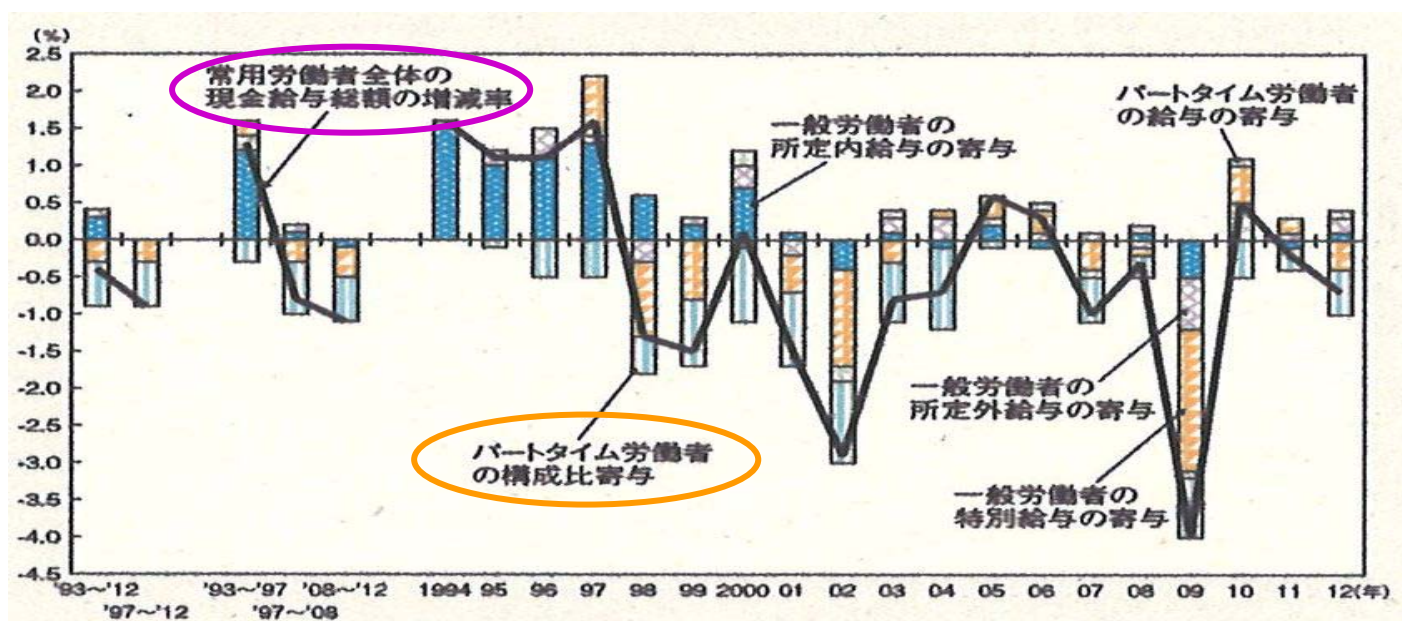
(図2)パートタイム労働者比率(全国)



(「毎月勤労統計調査 全国調査<年結果>」より県統計調査課作成)

図2は、全国のパートタイム労働者比率の推移を示したものです。1992年から2013年まで上昇傾向にあり、1992年(13.82%)と比較すると2013年(29.44%)のパートタイム労働者比率は2倍以上増加しています(113%増加)。

(図3)現金給与総額の増減要因(全国)



(「毎月勤労統計調査」より厚生労働省作成)

図3は、現金給与総額の増減を要因分析したものです。これによると、図2で見たようにパートタイム労働者比率が上昇傾向にあるため、「パートタイム労働者の構成比寄与」が「常用労働者全体の現金給与総額」の減少要因として作用する傾向にあることを示していると言えます。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、10月31日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年10月31日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



毎月勤労統計調査から見るお金のはなし②

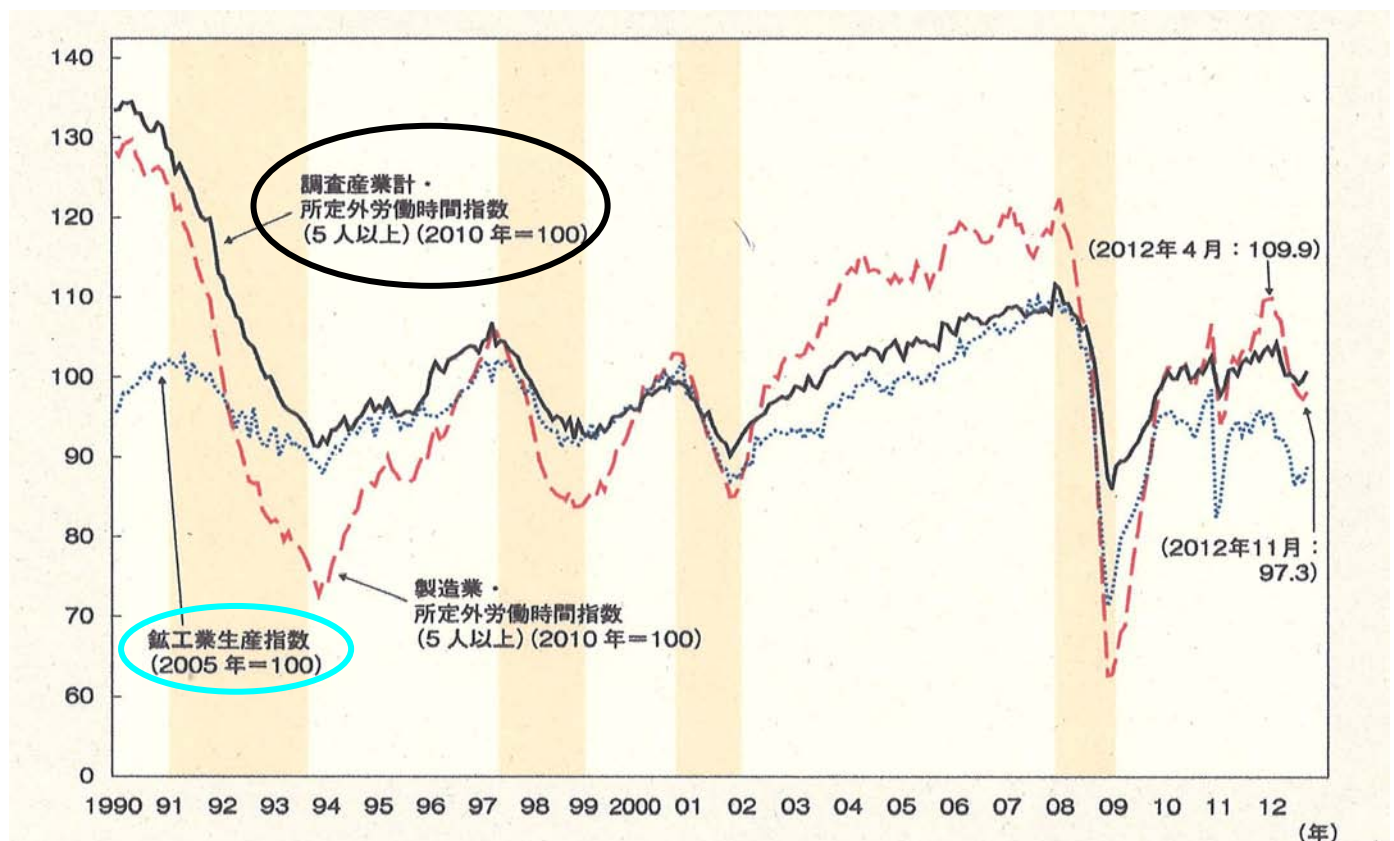
前回は、毎月勤労統計の賃金の長期的推移等を見てきましたが、今回は、他の公的統計と併せて賃金を見て行きましょう。

毎月勤労統計調査の調査結果（現金給与総額、所定外労働時間、常用雇用者数）は、国では内閣府の「月例経済報告」、熊本県では「熊本県景気動向指数」など景気判断の指標の一つとして活用されています。同じく景気判断の指標の一つとして活用されている指標に「鉱工業生産指数」があります。

鉱工業生産指数は、鉱工業生産全体の動きを示す代表的な生産指数で、ある年（図1では2005年）における生産量を基準（＝100）として月々の鉱工業生産量を指数化したものです。

毎月勤労統計調査の所定外労働時間（図1では、2010年＝100とした指数表示：黒色の実線）及び鉱工業生産指数（青色の点線）は、熊本県景気動向指数において景気と一致した動きをする一致系列として活用されており、両者の動きをグラフにしたものが図1です。これを見ると、両者は同じような動きをしていることが分かります。

（図1）鉱工業生産指数・所定外労働時間指数の推移＜全国＞



（「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)、「鉱工業指数」(経済産業省)）

次に、法人企業統計の「法人企業統計季報」(財務省)と毎月勤労統計調査を利用した統計データを紹介したいと思います。

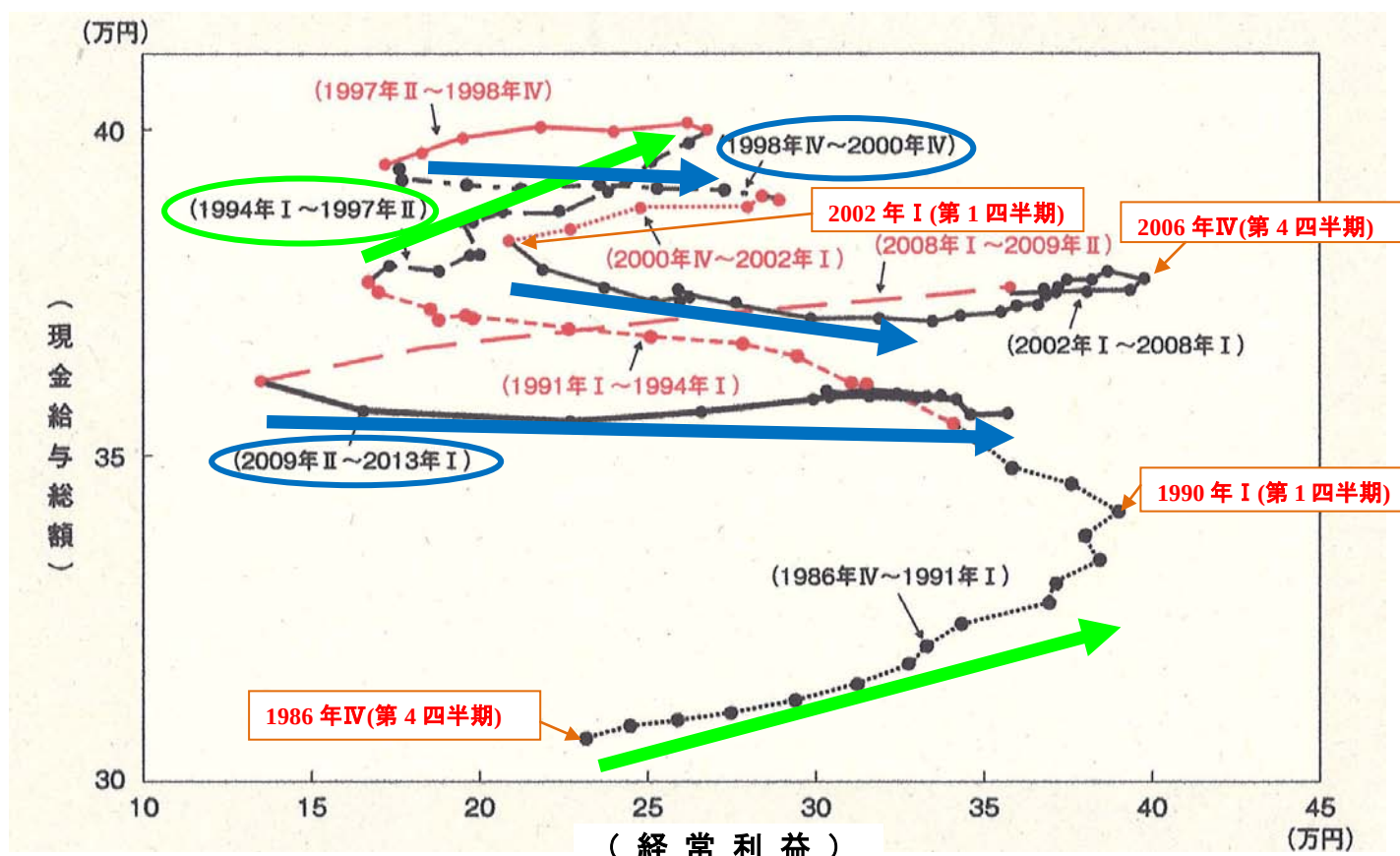
法人企業統計は、わが国における営利法人等の企業活動の実態を把握することを目的としています。

売上や利益が分かる損益計算書(P/L)、資産や負債の状況が分かる貸借対照表(B/S)により法人の活動状況を把握することが可能です。

図2のとおり、1986年Ⅳ【第4四半期(10月～12月)】～1990年Ⅰ【第1四半期(1月～3月)】や1994年Ⅰ【第1四半期(1月～3月)】～1997年Ⅱ【第2四半期(4月～6月)】は、**経常利益の上昇とともに現金給与総額が上昇**しているのが分かります(緑色の矢印)。

一方、1998年Ⅳ【第4四半期(10月～12月)】～2000年Ⅳ【第4四半期(10月～12月)】や2002年Ⅰ【第1四半期(1月～3月)】～2006年Ⅳ【第4四半期(10月～12月)】、2009年Ⅱ【第2四半期(4月～6月)】～2013年Ⅰ【第1四半期(1月～3月)】では**経常利益が伸びているにもかかわらず賃金は横ばい若しくは減少傾向**にあります(青色の矢印)。

(図2) 経常利益(人員1人当たり)と賃金(1人当たり現金給与総額)の推移<全国>



(「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)、「法人企業統計季報」(財務省)をもとに厚生労働省作成)

※経常利益＝営業利益＋営業外収益－営業外費用

このように1990年代末以降(1998年以降)においては、**法人の利益(経常利益)が上昇**する局面であっても**賃金の増加に結びつきにくい**状況が続いているようです。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、11月28日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年11月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

あれ？ レンタルビデオ店が減ってる？

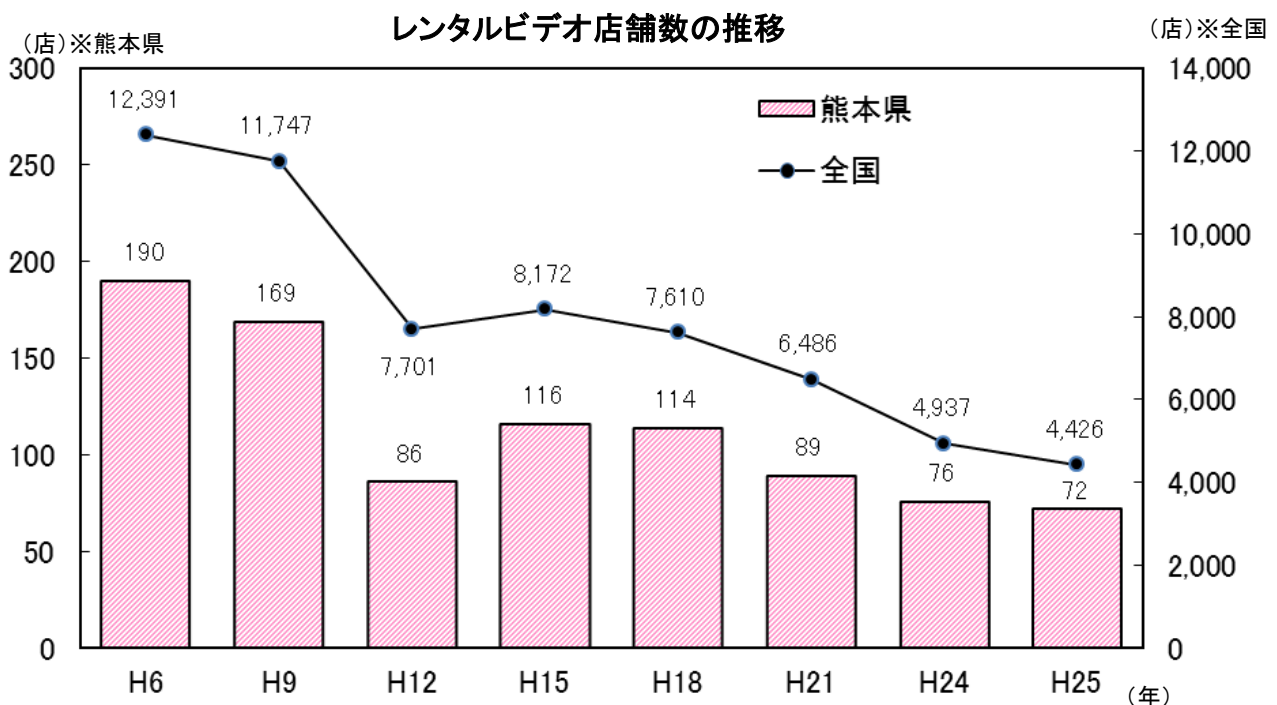


最近、レンタルビデオ店で映画やドラマを借りましたか？近くにレンタルビデオ店はありますか？

今回の統計アラカルトは、**レンタルビデオ店**に焦点を当ててみます。

図表1は、熊本県と全国のレンタルビデオ店舗数の推移を図示したものです。

(図表1)



(出典)熊本県統計調査課:「熊本くらしの指標100」

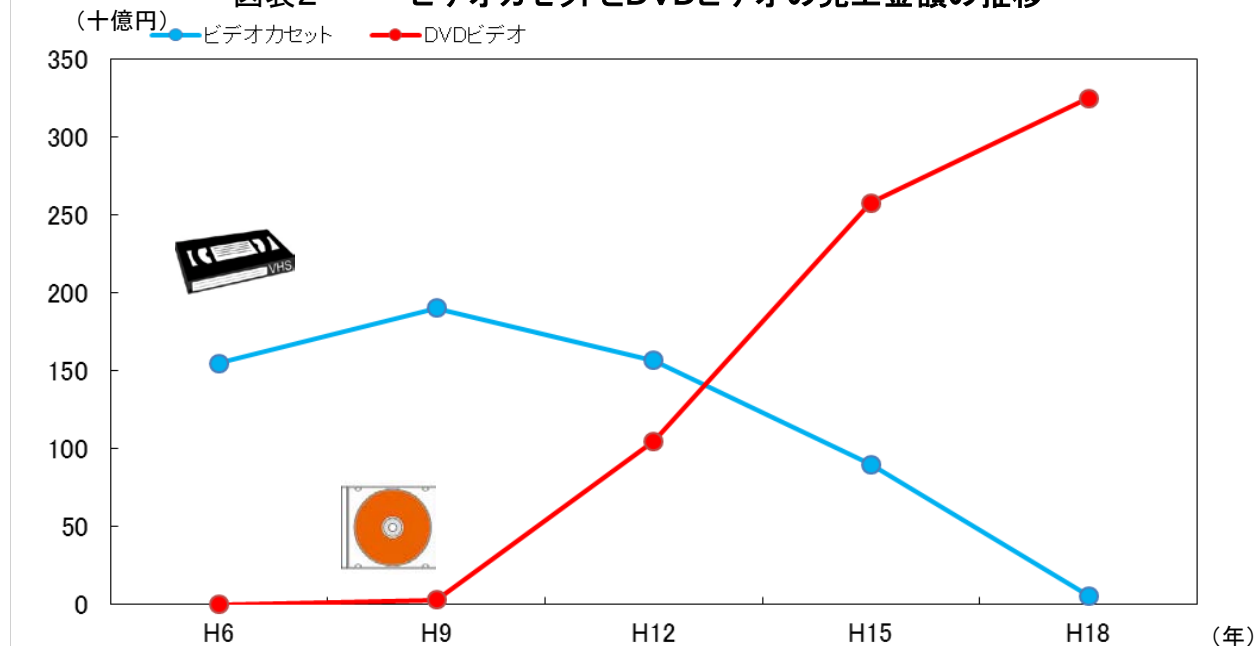
熊本県、全国ともに店舗数は同じような傾向で推移していますが、平成12年に店舗数が大きく減少しています。その後、平成15年は増加したものの、それ以降減少傾向が続いています。

それでは、なぜ、平成9年から平成12年にかけて店舗数が大きく減少したのでしょうか。

図表2は、**ビデオカセットとDVDビデオの売上金額(販売用、レンタル店用)**の推移を図示したものです。

この図からは、平成12、13年頃にかけてビデオカセットとDVDビデオの売上金額が逆転していることが分かります。売上金額の内訳(販売用、レンタル店用それぞれの金額)は分かりませんが、この頃からレンタルビデオ店においても、**ビデオカセットからDVDビデオへの移行が進んだもの**と考えられます。レンタルビデオ店には、映画やドラマなど多くのビデオがあり、**DVDへの移行には多額の費用がかかると思われることから、この頃に廃業したレンタルビデオ店が多かったのではないかと推測**できます。

図表2 ビデオカセットとDVDビデオの売上金額の推移



「一般社団法人日本映像ソフト協会」資料から作成

次に、平成15年以降レンタルビデオ店舗数が減少している理由について考えてみます。

図表3は、趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合を表しています。

平成18年と平成23年を比較すると、平成23年の方が熊本県では2.4%、全国では3.2%低くなっており、近年、趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合が低下していることが分かります。

図表3 趣味・娯楽に占める「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」の割合

	平成18年	平成23年
熊本県	18.6%	16.2%
全国	29.1%	25.9%

「社会生活基本調査(総務省)」から作成

なお、DVD・ビデオなどによる映画鑑賞が減少した理由についてはいろいろ考えられますが、インターネットの普及が大きな要因の一つとして挙げられるのではないのでしょうか。

パソコンはもちろん、特に最近は、スマートフォンやタブレット型端末が普及したことから、いつでもどこでも動画が視聴できる環境が整っています。「情報通信白書平成26年版(総務省)」によると、VOD市場(※)の規模は今後も拡大していくと予測されており、このような通信環境の変化がレンタルビデオ店に行く機会の減少、更にはレンタルビデオ店の減少にもつながっているのかもしれません。

皆さんもたまにはレンタルビデオ店に足を運んで、お気に入りの映画でも見つけてみませんか？

(※) 消費者がPC、テレビ、スマートフォンを含めた携帯電話、タブレット端末等で、インターネット等を経由し、自分がリクエストした映像コンテンツを視聴するサービス

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、12月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年12月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



熊本の農業の「イマ」と「ミライ」を知るために！！

熊本県は、東に世界最大級のカルデラを有する阿蘇と西に美しい島々からなる天草、北に比較的なだらかな丘陵地帯と南に九州山地に連なる急峻な地形からなる地域性に特徴をもっています。また、東の山地から西の平野に向かって、菊池川・緑川・球磨川などの一級河川が貫く変化に富んだ自然景観を有するなど、豊かな自然と水資源に恵まれた土地柄でもあります。

この豊かな自然の恵みを背景に、米、野菜、果樹、畜産をはじめとする、多彩な農産物が栽培されており、これらの安心・安全な熊本の農産物は、世界に誇れる私たちの大切な「宝」でもあります。

○全国に占める熊本農業の地位

表に整理されている内容は、本年度本県農林水産部が「くまもとの農業2014」として取りまとめたもので、本県の農業の地位と全国に占める割合を示していますが、農業生産の主要な担い手である**認定農業者数は全国3位、基幹的農業従事者は全国7位、昨年度の農業産出額は全国5位、生産農業所得は全国第4位**となっています。

また、指標の関係からも全国の平均を大きく上回る数値を示していますし、昨年度において、**全国1位の農産物が7品目**もあり、本県における産業としての農業の位置づけが大きいことがわかります。

さて、これらの指標の根拠となる貴重な数値を提供しているのが、下記の各種統計ということになります。また、**本年度は平成27年2月1日を基準日として、「農業の国勢調査」と言われる農林業センサスが5年に一度行われる年**です。

区 分		単 位	全 国	九 州	熊 本 県	熊本県の全国に占める								
						順 位	割合（％）							
農 家 戸 数 (22年)		千戸	2,527.9	363.2	66.9	14	2.6							
認 定 農 業 者 数 (24.3月末)		千人	237.5	49.4	10.9	3	4.6							
基幹的農業従事者数 (22年)		千人	2,051.4	338.5	73.0	7	3.6							
耕	地 面 積 (25年)	千ha	4,537.0	552.6	115.8	13	2.6							
	田 面 積 (25年)	千ha	2,465.0	321.5	70.4	12	2.9							
	畑 面 積 (25年)	千ha	2,072.0	231.2	45.3	10	2.2							
	樹 園 地 (25年)	千ha	299.5	61.3	15.8	6	5.3							
	牧 草 地 (25年)	千ha	611.1	14.6	6.9	4	1.1							
農 業 産 出 額 (24年)		億円	86,104	16,601	3,245	5	3.8							
生 産 農 業 所 得 (24年)		億円	29,771	5,177	1,134	4	3.8							
主要農畜産物の収穫量（24年）	い	ぐ	さ	千 t	10.6	10.6	10.4	1	対主産県比 98.1					
	宿	根	カ	ス	ミ	ソ	ウ	千本		59,400	...	23,700	1	39.9
	す		い		か			千 t		370.3	...	55.5	1	15.0
	ト		マ		ト			千 t		722.4	172.4	104.3	1	14.4
	不知火類（デコボン）23年		千 t	48.9	...	19.9	1	40.7						
	なつみかん（23年）		千 t	37.4	...	9.7	1	25.9						
	葉たばこ（販売量）		千 t	19.7	8.3	2.9	1	14.7						
	く		り	千 t	20.9	...	3.1	2		14.8				
	トルコギキョウ	千本	101,900	...	10,600	2	10.4							
	な		す	千 t	327.4	65.0	30.6	2		9.3				
	し	ょ	う	が	千 t	54.6	...	6.9		2	12.6			
	メ		ロ	ン	千 t	176.3	...	26.5		3	15.0			
	い		ち	ご	千 t	163.2	...	12.1		3	7.4			

（出典）「くまもとの農業」（熊本県農林水産部）

我が国の農業を取り巻く環境が大きく変わろうとしている時期の農林業統計にご注目いただきたいと思います。

【参考】熊本県及び国の各種指標に占める農業の割合

	総生産に占める農業の割合（H22）	世帯数に占める農家の割合（H22）	県内就業者に占める農業従事者の割合（H22）	面積に占める耕地の割合（H23）
熊本県	2.8%	9.7%	9.8%	15.8%
全国	1.0%	4.9%	3.6%	12.1%



2015年農林業センサスを実施します

＜平成27年2月1日(日)実施＞

～農林業センサスは、農林業・農山村の「イマ」を明らかにして、
「ミライ」を導く、あなたと地域のための「統計調査」です～
(農林業経営体調査)

1. 調査の目的はなんですか？

○我が国農林業の生産構造や就業構造などの実態を明らかにすることを目的に、5年に1度実施している農林業に関する最も基本的な統計調査です。我が国「**農業の国勢調査**」と言われています。

2. 調査対象はどうなっていますか？

○一定規模以上の農林産物の生産、又は委託を受けて農林業作業を行う世帯や会社等の組織(農林業経営体)を調査対象としています。

(参考) 具体的には、以下のいずれかに該当する全ての世帯や会社等の組織を調査客体としています。

- (1) 経営耕地面積が30アール以上の規模の農業を営む世帯や組織
- (2) 経営耕地面積が30アール未満でも、農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼育頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が一定規模以上の農業を営む世帯や組織
- (3) 農業サービス(農作業の受託や選果選別等)の事業を営む世帯や組織
- (4) 保有山林面積が3ヘクタール以上の規模で、2015年をその計画期間に含む森林経営計画又は森林施業計画を作成している世帯や組織
- (5) 保有山林面積が3ヘクタール以上の規模で、調査期日前5年間に継続して林業作業(育林又は伐採)を行った世帯や組織
- (6) 委託を受けて育林作業(造林又は保育)を行った世帯や組織
- (7) 委託を受けて又は立木を購入して素材生産を行い、過去1年間の素材生産量が200立方メートル以上である世帯や組織

3. 調査方法はどのように行うのですか？

○調査員が調査票を配布・回数して行う自計調査の方法により行います。

4. 調査結果はどのように活用されているのですか？

○調査の結果は、各種農林業施策の企画・推進・評価の際の基礎資料として、また、各種交付金の算定のための基礎資料として活用されるほか、農業経営安定等の施策の立案や各種統計調査を効率的に実施するための母集団情報としてなど、多様に活用されています。

※2015 農林業センサスのキャンペーンサイトが開設されています。調査内容について、更に詳しく知りたい方は、下記URLをクリック！

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc2015/index.html> 2015 農林業センサス

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、1月30日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成27年1月30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

あなたの知らない(or知ってる)熊本 経済センサスからお見せします?!

皆さん、「**経済センサス**」って知ってますか？



(経済センサスマスコットです)

平成21年から始まった新しい統計調査で耳慣れない人が多いかもしれません。

でも、「**国勢調査**」は知ってますよね。5年に1回、日本中のお宅を訪問して調査をやってるアレです。

「**経済センサス**」は**経済の国勢調査**とも言われます。

従来の事業所・企業統計やサービス産業基本調査などを統合的に見直したもので、日本国内の全ての事業所や企業を対象に行われ、以下の2つの調査が、概ね5年おきに行われます。

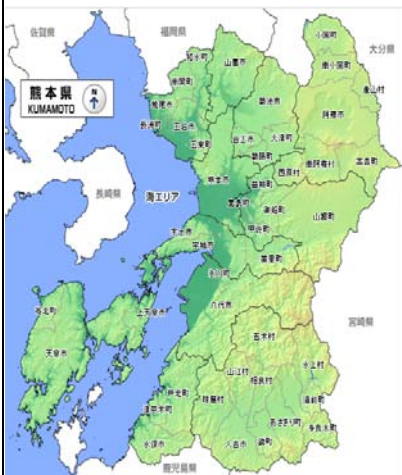


(国勢調査はセンサス君です)

「経済センサス-基礎調査」・・・事業所・企業の構造を明らかにします

「経済センサス-活動調査」・・・事業所・企業の活動を明らかにします

《注意》・経済センサスは、従来実施されていた「事業所・企業統計調査」、「サービス産業基本調査」等を見直したものです。
・全産業が対象ですが、農業、林業、漁業に属する個人経営の事業所や家事サービス業、外国公務に属する事業所は除外され、更に活動調査では国・地方公共団体の事業所も対象外となっています



【まず基礎知識から】・・・ 熊本県は日本の中でどのあたりでしょうか。

面積 (H24 国土地理院調べ) → 全国**15位**(日本全体の2.0%)

人口 (H24 総務省人口推計年報) → 全国**23位**(日本全体の1.4%)

経済 (H23 内閣府県民経済計算) → 全国**25位**(日本全体の1.2%)

面積では上位3分の1あたり、人口、経済では真ん中あたりでしょうか。

どうでしょう。皆さんのイメージと合っていましたか？

頭の中でこれを基準にしてください。

では、「**経済センサス**」でいったいということが分かるのでしょうか。

1つの例として、今回は「**経済センサス**」のデータから**熊本県の全国順位**を見てみましょう。

ここでは、産業ごとの事業所数、従業者数、売上金額、従業者1人当たりの売上金額を表にしました。

H24経済センサスー活動調査

10位以内

20位以内

30位以下

40位以下

(個人的な熊本のイメージ1)

各産業(大分類)ごとの 47都道府県中の熊本県順位	事業所数	従業者数	売上(収入) 金額	従業者1人 当たり売上 (収入)金額
農林漁業	7 位	11 位	17 位	25 位
鉱業、採石業、砂利採取業	25 位	19 位	32 位	38 位
建設業	23 位	22 位	23 位	35 位
製造業	34 位	27 位	30 位	29 位
電気・ガス・熱供給・水道業	23 位	33 位	41 位	42 位
情報通信業	22 位	21 位	24 位	31 位
運輸業、郵便業	23 位	25 位	29 位	41 位
卸売業、小売業	22 位	23 位	23 位	31 位
金融業、保険業	24 位	24 位	28 位	32 位
不動産業、物品賃貸業	23 位	22 位	24 位	33 位
学術研究、専門・技術サービス業	22 位	22 位	28 位	33 位
宿泊業、飲食サービス業	23 位	22 位	22 位	16 位
生活関連サービス業、娯楽業	22 位	20 位	14 位	7 位
教育、学習支援業	23 位	19 位	20 位	34 位
医療、福祉	20 位	15 位	20 位	46 位
複合サービス事業	15 位	15 位	8 位	14 位
サービス業(他に分類されないもの)	22 位	23 位	24 位	17 位



(個人的な熊本のイメージ2)



※ 複合サービス事業：郵便局や協同組合など

どうでしょう。やっぱり農業県のイメージどおり、個人事業主を除くとはいえ農林漁業は上位ですね。

一方で、サービス業に結構上位が多いのは意外？です。

しかし、悲しいことに従業者1人当たりの売上には努力の余地がありそうです。

【アラカルトの中のアラカルト】 熊本のちょっと意外な順位も見つけました。

- ・ 人口1万人当たりガソリンスタンド数 17位
- ・ 電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額等 7位(全国シェア2.9%)
- ・ 1人当たり書籍・雑誌年間販売額 46位
- ・ 人口1万人当たりラーメン店数 19位
- ・ 人口1万人当たりうどん・そば店数 32位
- ・ 人口1万人当たり持ち帰り飲食サービス店数(売上額も) 10位
- ・ 人口1万人当たり教養・技能教授業受講生数 13位

なぜでしょう 車社会だモン？

素直にすごいモン

もっと本を読まんといけんモン

もっとあるのかと思ったモン

もっとあるのかと思ったモン

弁当惣菜大好き県民だモン

習い事も大好きだモン？

【番外編】 経済センサスからではありませんが・・・

- ・ 温泉湧出量 5位(環境省 温泉利用状況) 温泉はもちろん大好きだモン！

いかがでしたか、「**経済センサス**」。データを搜して加工するといろんな発見があります。興味がわいたら、さあクリック！

詳しく知りたい → <http://www.stat.go.jp/data/e-census/index.htm>

元データはこちらから → <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>



H28は経済センサスー活動調査が行われます。調査の際は御協力をお願いします

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、2月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成27年2月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

くまもとの赤！

くまもとの赤



©2010 熊本県くまモン

みなさんは「赤」と言えば、どんなものを思い浮かべますか？
郵便ポスト、消防車、赤信号、りんご、にんじん、くまモンのほっぺ、etc…。
世の中には赤いものがたくさんありますね。

現在、熊本県では、トマト、すいか、いちご、あか牛、真鯛など「赤」をイメージカラーとする農林水産物・加工品の全国的な認知度向上に取り組んでいるところです。

つい先日は、「くまもとの赤でニッポンを健康に！」する「赤い健(けん)！くまもと」プロジェクトの一環として、まずは熊本県民の皆様に「くまもとの赤」を食べて健康になっていただきたい！との願いを込めて、県産トマトとなすなどを使用したヘルシー定食が県庁食堂で提供されました。

さっそく、くまモンも食べていましたが、これまでのツケ(?)がたたってメタボの疑いがかけられ、これからダイエットを行っていく、ということが話題になったのも記憶に新しいところです。

ただ、熊本県にはおいしいものがたくさんありますから、本当にダイエットできるのでしょうか…？

結果が楽しみです☆

さて、今回は先に掲げた「くまもとの赤」の中でも日本一の生産量を誇る、「トマト」についてご案内しよう…と思ったのですが、実は以前の統計アラカルトでもご紹介していましたので(汗)、ちょっと変化球ということで筆者も大好き、今が旬の「いちご」について調べてみたいと思います。

それでは、「くまもとのいちご」のデータを

見てみましょう…！



☆熊本県はいちごの収穫量が全国3位

右の表は、平成25年のいちごの生産量をまとめたものです。（出典：作況調査（野菜）農林水産省）

全国1位は栃木県の26,000トンで、なんと昭和43年から40年以上収穫量日本一だそうです。

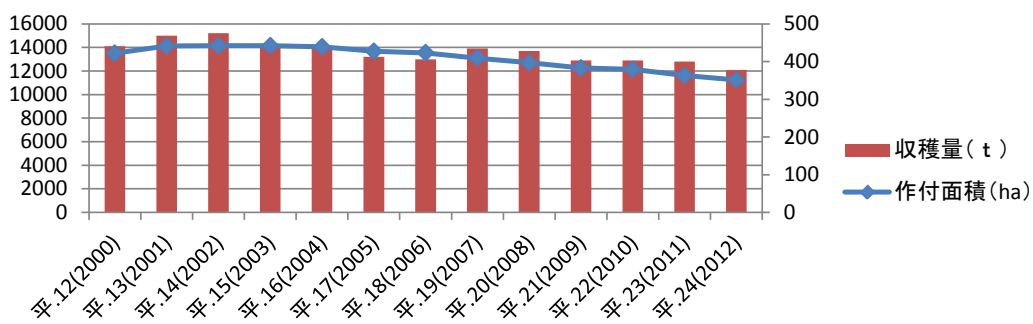
残念ながら栃木県には及びませんが、熊本県の収穫量は11,900トンで堂々の全国3位を誇ります！

県下では、玉名、宇城、阿蘇、八代の各地域を主な生産地域として、「ひのしずく」、「とよのか」、「さがほのか」、「紅ほっぺ」などなど、いろいろな品種が栽培されています。そのうち「ひのしずく」は、熊本県が平成7年から9年の年月をかけて開発し、平成16年に栽培が開始された熊本県のオリジナル品種であり、県内のみで生産されています。国内だけでなく海外にも出荷されており、鮮やかな紅色と上品な甘味で人気を博しているそうです。

表1 いちごの収穫量（平成25年）

順位	都道府県	収穫量 (t)
	全 国	165,600
1位	栃木県	26,000
2位	福岡県	17,500
3位	熊本県	11,900
4位	静岡県	11,500
5位	長崎県	10,700

熊本いちごの作付面積と収穫量



では次に、熊本県民はどのくらいいちごを食べているのか、ということ調べてみました。なお、熊本県としての消費量を把握する統計はありませんので、都道府県県庁所在地及び政令指定都市の消費者を対象とした「家計調査」の結果を用いました。

表2 いちごの消費金額・数量（平成23～25年平均）

順位	金額 (円)	数量 (g)
	全 国	全 国
1位	宇都宮市 4,446	宇都宮市 4,123
2位	東京都区部 4,106	静岡市 3,758
3位	前橋市 4,038	東京都区部 3,414
4位	さいたま市 3,987	横浜市 3,412
5位	神戸市 3,955	水戸市 3,374
49位	熊本市 2,237	熊本市 2,181

※家計調査（二人以上の世帯）による

左の表は、いちごの消費金額と数量をまとめたものです（出典：家計調査 総務省統計局）。

調べてみて初めて知りましたが、意外や意外、熊本市は消費金額も数量も調査対象の全51市区中、なんと49位だったのです！なお、1位はやっぱり宇都宮市（栃木県）でした。

いかがでしたか？

今が旬でビタミンCなど栄養も豊富な、とってもおいしい熊本のいちごをもっと食べましょう！！

…ちなみに、「赤い」繋がりとということで、80年代を少年時代として過ごした筆者が「赤」と言えば、「仮面」「赤くてツノ付き」「通常の3倍」の「赤いあの人」を真っ先に思い浮かべたのでした…。

熊本県の統計情報は

http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297 をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、3月27日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成27年3月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

GW ゴールデンウィーク & SW シルバーウィーク



平成26年度も終盤となり、平成27年度が迫って来ております。みなさん、平成27年のカレンダーはチェックされましたでしょうか？

平成27年度は暦のうえでは、ゴールデンウィークが5連休、9月には6年ぶり2回目となるシルバーウィークが5連休あります。

ゴールデンウィーク、シルバーウィークの旅行先などはお決まりでしょうか！？

今回の統計アラカルトは、**旅行**に焦点を当ててみました。

まず、シルバーウィークとはどのような連休なのでしょう？

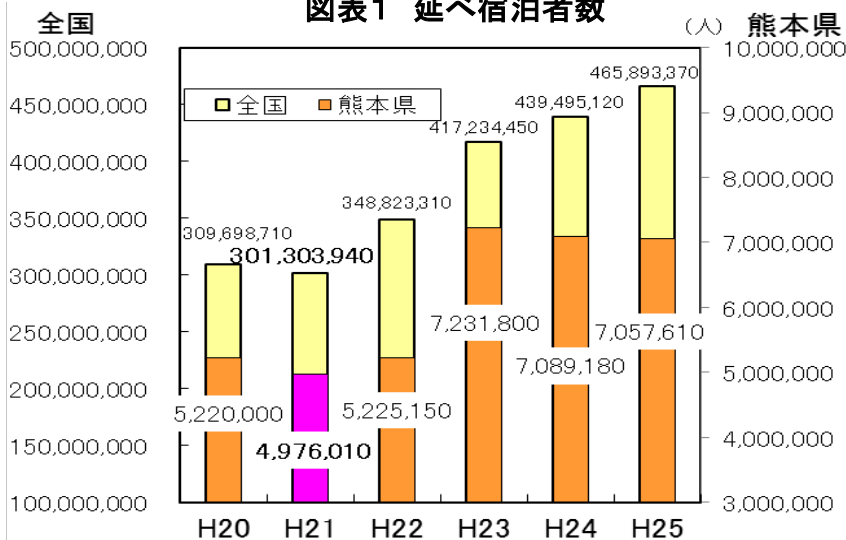
シルバーウィークとは、秋の大型連休のことを指し、4月末から5月初めの大型連休であるゴールデンウィークにあやかって名付けられた造語です。秋のゴールデンウィークとも呼ばれています。

ハッピーマンデー制度（国民の祝日の一部を、従来の日付から特定の月曜日に移動させた法改正）の導入に伴い、敬老の日が9月の第3月曜日となったため日付の並びによっては**5連休**となります。**平成21年の1回目**に続いて、**平成27年は2回目**となります。

さて、旅行は日帰り旅行、宿泊を伴う旅行があります。まず初めに平成20年から平成25年までの熊本県と全国の宿泊者数の推移を見てみましょう。

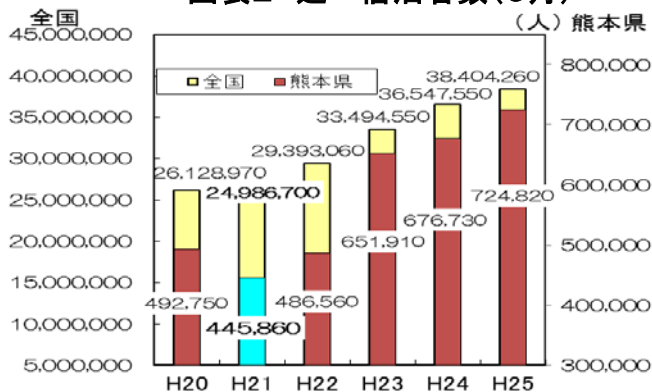
暦年を通して見ると初めてシルバーウィークがあった平成21年は熊本県、全国ともに宿泊者数が減少していました。減少の理由は、リーマンショックが影響していると考えられます。

図表1 延べ宿泊者数

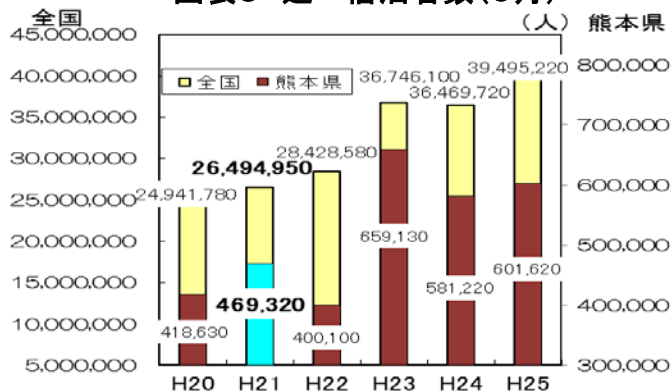


次に、ゴールデンウィーク月である**5月**及びシルバーウィーク月である**9月**の平成20年から平成25年までの熊本県と全国の宿泊者数の推移を見てみましょう。図表2が5月の宿泊者数、図表3が9月の宿泊者数の推移を示したものです。

図表2 延べ宿泊者数(5月)



図表3 延べ宿泊者数(9月)



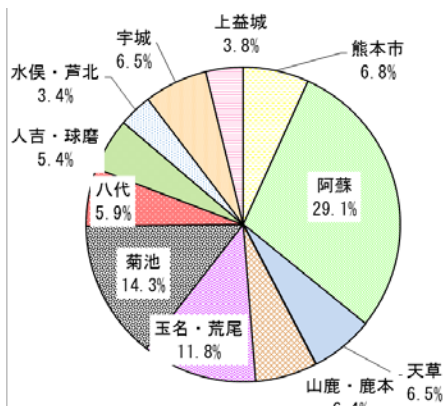
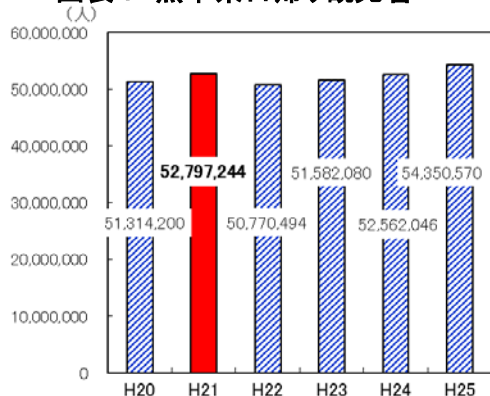
(出典)観光庁:宿泊旅行統計

これらの2つの図表を比較すると、**熊本県ではシルバーウィークの年(土曜日を休みとすると5連休)となった平成21年と平成23年の9月はゴールデンウィークのある5月よりも延べ宿泊者数が多く、特に平成21年の9月(延べ宿泊者数 469,320人)は同年5月(延べ宿泊者数 445,860人)に比べて2万人以上延べ宿泊者数多くなっている**ことが分かります。例年より長い休みとなった平成21年のシルバーウィークに宿泊しようという人が熊本には多かったということなのではないでしょうか？ちなみに、全国では平成21年の他、平成23年、平成25年も9月の方が5月より延べ宿泊者数が多くなっています。

なお、図表3のうち、平成24年(9月)における熊本県の延べ宿泊者数の減少の理由は、7月に発生した九州北部豪雨が影響していると考えられます。

図表4では、平成20年から平成25年までの熊本県の日帰り観光客総数の推移を、図表5では、シルバーウィークのあった**平成21年**に着目して、熊本県日帰り観光客総数を地域別に割合を出した図表となります。

図表4 熊本県日帰り観光客



(出典)熊本県:観光統計

日帰り旅行では、阿蘇地域を筆頭に県北地域の人気が高いことが伺えます。

阿蘇地域には、阿蘇の雄大な自然や温泉にも恵まれ、あか牛などおいしいものがたくさんありますよね。そういったものが多くの観光客を引き付けるのでしょうか。

平成27年のゴールデンウィーク、シルバーウィークが皆さんの旅行にどう影響するのでしょうか？

数年に一度しかない年に2回の大型連休…皆様の旅行が楽しいものとなりますように。



熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

次の「統計アラカルト」は、4月24日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp